



坂野 茂実 議員

質問

太陽光パネルと蓄電池の設置を進め『災害に強い常総市』づくりを！

答弁

ゼロカーボン推進室を中心に検討と取り組みを進めている

坂野議員の質問動画



議員

じょうそうエコオフィスプランとはどのようなものか。

保健衛生部長

庁舎内LED化やペーパーレス化、クールビズ、ウォームビズ、オンライン会議等により二酸化炭素の排出が削減され、基準年(平成28年)に対して3%の削減目標は達成している。また今年度より、常総市地球温暖化対策実行計画策定委員会を立ち上げて、全庁的にまた市民や企業と連携による取り組みを協議、検討している。

議員

市民が取り組むゼロカーボンへの活動にはどのようなものがあるか。

保健衛生部長

ゼロカーボンの実現に向けては行政、事業者、市民も含めて総参加で進めていくことが重要であると考え。具体的には、電気等のエネルギーを節約、転換する取り組みとしては、クールビズやウォームビズの実践、節電、省エネ家電の導入など。焼却エネルギーの削減の取り組みとしては、ごみの削

議員

減、再利用、再資源化の実践や食品ロスの削減、太陽光パネル、蓄電池つきの省エネ住宅の導入や二酸化炭素の少ない交通手段を選ぶことなど。当市としても、ゼロカーボンに向けて市民一人ひとりができることから取り組めるよう啓発していく。

議員

今後は、個人の家が発電所として家庭内の電気を賄える太陽光パネル、蓄電池つきの省エネ住宅の導入にぜひ目を向けていただきたい。

議員

電気料金の値上げが続くことで、新築家屋の太陽光発電の需要が高まることが予想され、パネルと蓄電池の設置で家庭においては電気料金の減額ができると同時に、災害等の停電にも対応できる。現在年間10件の補助上限を年間想定数の24件以上の受け付けを検討し、また、いつ何時発生するかわからない災害に対応するため、指定避難所等への太陽光パネルや蓄電池を設置し、万が一の際にも電気が使えるようセットでの活用を進めて欲しい。



茂田 信三 議員

質問

正常な議会答弁を望む

答弁

都合の悪いこと。答弁拒否

茂田議員の質問動画



議員

保健推進課長の虚偽答弁、隠ぺいの件で私の家と事務局へ許してはならぬことと、たくさんの電話があった。裾野市の件では、部長が更迭、市長が減給、それ程重大なことである。しっかりと謝罪しなければいけない。過去2回とも注意で済み、3回目も口頭注意とは誰も納得しない。

防災先進都市を掲げる当市の避難所は、ハザードマップで一番危険な地域交流センター、石下中学校、石下小学校を指定している。命を落とすに行くようである。なぜこのようなことをしたのか。私は以前にも何度か警告している。

市長公室長

発災当初、遠方への避難が困難な場合の短期的な避難を想定している。

議員

緊急避難で短期も長期もない。一階が浸水したら二階へ避難すれば良いと言っているがそれでは命の危険がある。7年前の被害の時は、地域交流センターの人は自衛隊に救出してもらったではないか。

議員

なぜその教訓を生かさないので。水害当時の地域交流センターの状況は報告を受けている。

議員

豊田小学校も避難場所になっている。小貝川が決壊したら、命の保障がない。なぜそのような所を指定するのか、即刻訂正版を出すべきである。死亡事故が起きたら責任者は隠れて、責任を転嫁してしまうのか、一般社会では責任問題である。危険なところへ誘導して、それを正当化するのはいまずいことである。これでは防災先進都市ではない。

自治区長の名称を有償ボランティアという呼び方はおかしい。ボランティアとは無償で代価を求めないことである。

市民生活部長

自治区長の立場に誤解を招くおそれがあり、今後は使用しない。

議員

議員定数削減の請願書において、自治区長等の方が定数削減について回覧板を回して、署名を集めるのはよくないことである。